

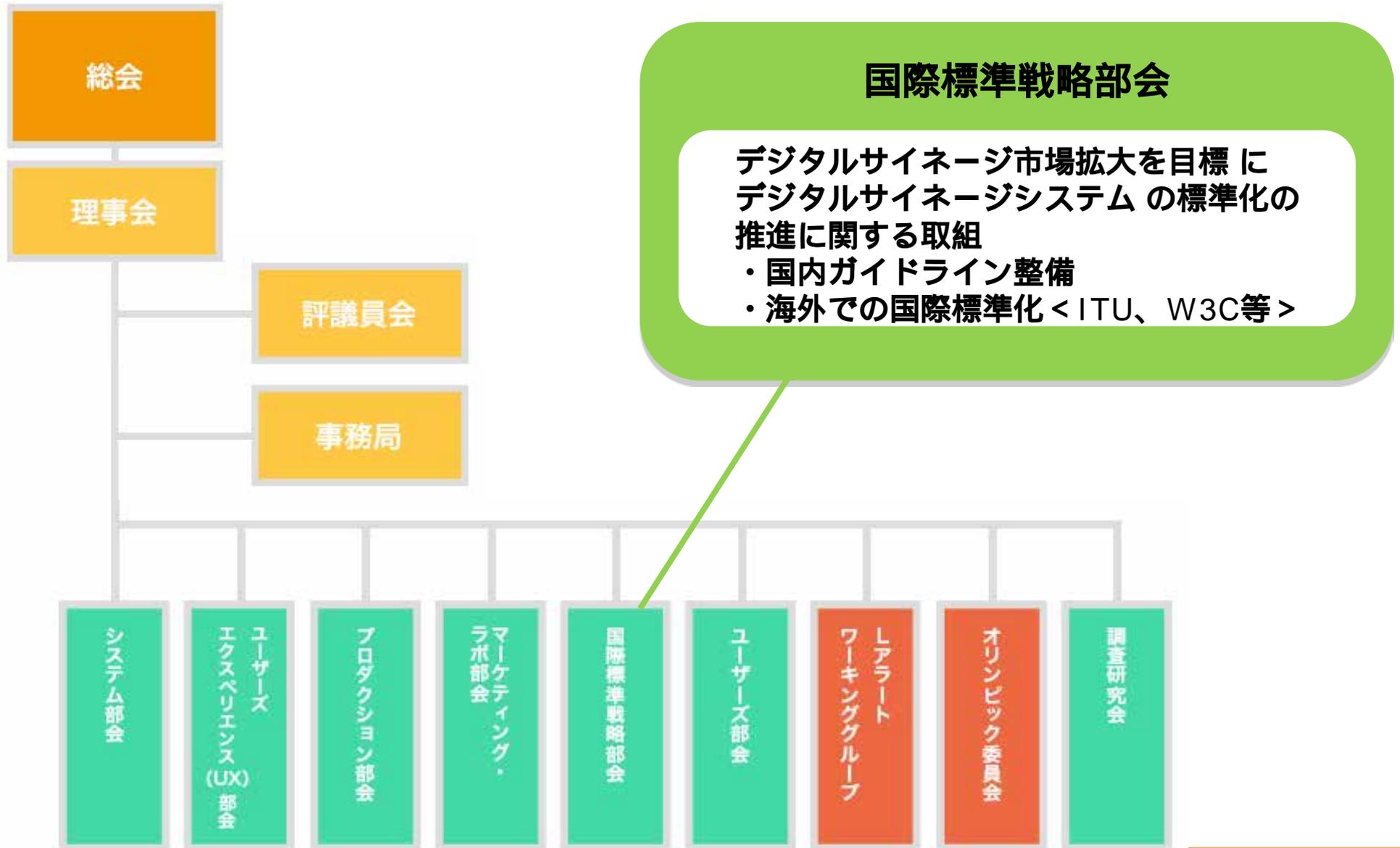


国際標準戦略部会 のご紹介

2018年4月17日

一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム
国際標準戦略部会

DSCの組織と国際標準戦略部会の位置づけ



国際標準化とは

- 標準化とは、製品の形や機能などを同じにすること
- 標準化すると、製品がより安心・便利になり市場拡大！

標準化されていない製品

A社製



製品毎に使う部品が違う！

B社製



製品毎に使い方が違う！

C社製

製品そのものが使いづらい

標準化

標準化された製品

A社製



どの製品でも
同じ部品が使える！

B社製



同じように使える！

C社製

製品が使いやすい

製品市場が拡大

【標準化の例】



電池



DVD

国際標準化を牽引する日本

- 総務省とデジタルサイネージコンソーシアムが連携、国連の機関（ITU）へ標準化を積極的に提案

内容

標準化時期

基本的なサービスの機能や構成等

2012年6月

災害時の運用等

2014年10月

< 現在作業中 > 一斉配信、スマホ連携等

2018年7月（予定）

現在推進中の国際標準化

デジタルサイネージ標準システム 相互運用ガイドライン

(2018年7月 ITUで標準化予定)

インバウンド×災害情報提供に対応するため
重要情報をシステム相互連携し届ける仕組み

本ガイドラインで実現するサービス

災害情報等 地域に共益な情報の
一斉配信

サイネージオーナー、システムを跨ぎ一斉配信

サイネージオーナー (例: 自治体)

サイネージオーナー (例: 商業施設)

サイネージオーナー (例: 交通機関)

情報提供者

サイネージ
配信事業者A

サイネージ
配信事業者B

サイネージ
配信事業者C

属性に応じた表示

タッチパネル



使用言語で表示

スマートフォン連携表示

サイネージの情報をスマートフォンに簡単に連携

Wi-Fi等



サイネージ端末に接続

サイネージの情報が表示

もっと知りたい方は

- デジタルサイネージコンソーシアムのWebサイトから入手できます
- <http://www.digital-signage.jp/>
 または http://www.digital-signage.jp/organization/strategy_meeting/

The screenshot shows the website for the Digital Signage Consortium. At the top, there is a navigation bar with language options (日本語, ENGLISH, 中国語) and a search bar. Below the navigation bar, there are several menu items: デジタルサイネージとは, コンソーシアム組織概要, デジタルサイネージ事例, デジタルサイネージ関連記事, and メディア掲載情報. The main content area is titled '国際標準戦略部会' (International Standard Strategy Committee). It contains a list of items with expandable arrows, including: コンソーシアムのミッション, 役員, 組織図, 活動概要, 定例会リポート, 部会, システム部会, ユーザー・エクスペリエンス部会, and プロダクション部会. The page also features a sidebar on the right with a 'コンソーシアム組織概要' (Consortium Organization Overview) section.

一般社団法人 デジタルサイネージコンソーシアム
DIGITAL SIGNAGE CONSORTIUM

日本語 | ENGLISH | 中国語

デジタルサイネージとは コンソーシアム組織概要 デジタルサイネージ事例 デジタルサイネージ関連記事 メディア掲載情報

ホーム > コンソーシアム組織概要 > 部会 > 国際標準戦略部会

国際標準戦略部会

1. 目的
 - 国際標準戦略部会は、デジタルサイネージ市場拡大を目標にした、デジタルサイネージシステムの標準化の推進に関する取組を行います。
2. 現在の活動内容
 - 毎月1回程度の定例会議を開催し、以下のような国際標準化に関するディスカッション、国際標準機関への提案資料の作成などを行っております。
 1. 既存デジタルサイネージシステムの相互接続に関する仕様の検討
 2. 新規デジタルサイネージシステムの方向性、標準化ポイント・仕様の検討
 3. 海外の標準化機関・フォーラム等との連携、国際標準づくりに向けた取組の推進
3. これまでの活動内容とその成果
 - ITU-T (国際電気通信連合電気通信標準化部門) におけるデジタルサイネージシステムの標準化を推進し、2011年12月に開催されたITU主催の「ITUデジタルサイネージワークショップ」を後援するなど積極的に国際標準化活動を進めております。
 - 2016年4月に、デジタルサイネージ標準システム相互運用ガイドライン (1.0版) を発表しました。
 - 2017年5月、デジタルサイネージ標準システム相互運用ガイドライン (第2版) を策定しました。
[デジタルサイネージ標準システム相互運用ガイドライン \(第2版\)](#)
[デジタルサイネージ標準システム相互運用ガイドライン \(第2版\) 【別紙1】SPFインタフェース仕様書 \(第1版\)](#)
[デジタルサイネージ標準システム相互運用ガイドライン \(第2版\) 【別紙2】SPF/XML仕様書 \(第1版\)](#)
4. 今後のvision、ゴールイメージ
 - ネットワークで接続された様々なデジタルサイネージが連携することで新しいメディアとして昇華し、人々の生活に豊かな経験

コンソーシアム組織概要

- > コンソーシアムのミッション
- > 役員
- > 組織図
- > 活動概要
- > 定例会リポート
- > 部会
 - > システム部会
 - > ユーザー・エクスペリエンス部会
 - > プロダクション部会